

## 取組点検指標を用いた取組確認結果（東三河地域）

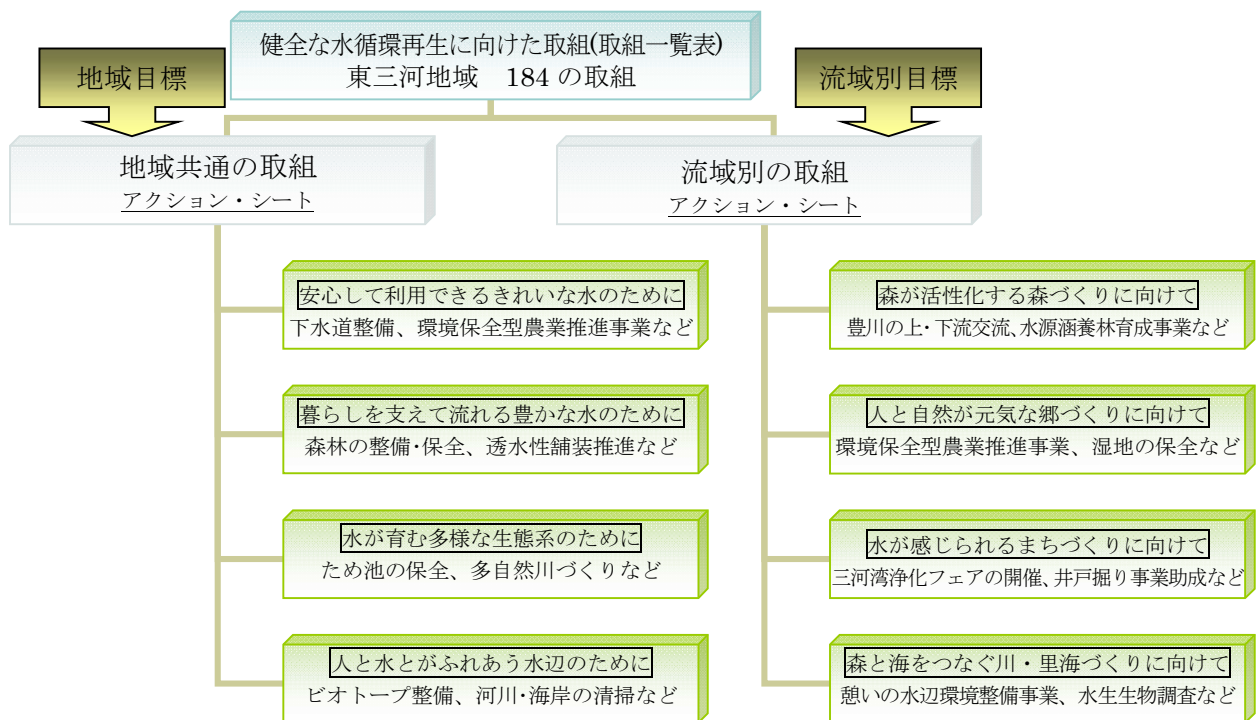
### 1 背景

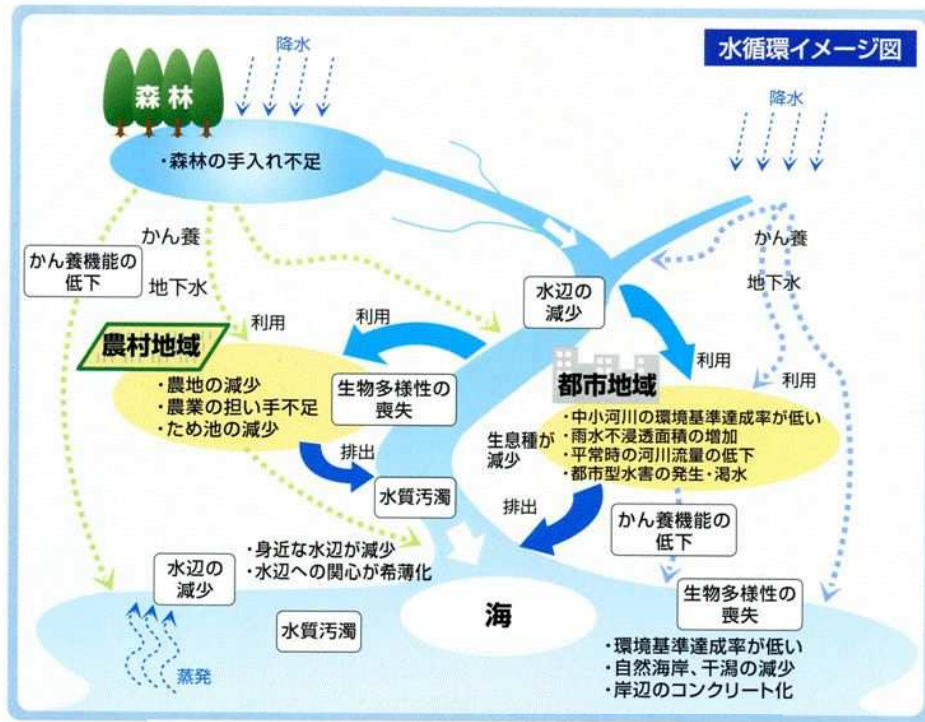
東三河地域水循環再生地域協議会では、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、2008年度に「取組点検指標」を取りまとめ、2009年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と、地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」及び「ふれあう水辺」の4項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」及び「川、里海づくり」の4項目が設定されています。

#### 【取組点検指標の概念】

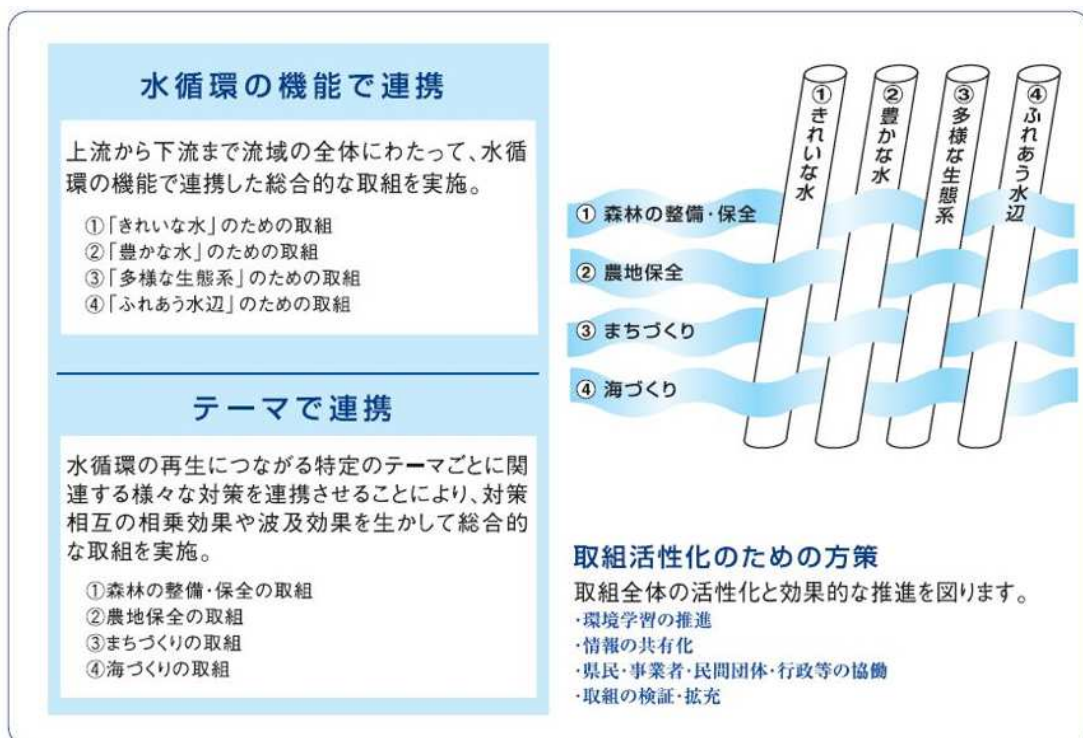




水循環のイメージ

## 2 取組実績 (2022 年度)

- ・東三河地域水循環再生地域協議会構成員 32 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました (取組集計結果は別表参照)。
- ・地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備 (下水道の整備等) が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、環境教育などが実施されています。



健全な水循環を取り戻す取組の方向性

### 3 地域共通の取組の進捗確認

第4次の行動計画では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

(進捗状況の例)

- ・生活排水処理施設の整備は目標年度(2030)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは継続的に実施されています。
- ・海域の環境基準の達成率は目標を達成しませんでした。

### 4 東三河地域の取組点検指標及び取組実績(詳細)

- ・各取組の進捗状況は別表のとおりです。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度まで中止又は規模縮小された取組について、取組が再開され以前の実施レベルに戻りつつある傾向が見られます。

東三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績									目標値	目標年度	指標の説明	
		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				2022年度
きれいな水	<b>生活排水処理施設の整備 汚水処理全体</b>	汚水処理人口普及率(%)									汚水処理人口普及率(%)	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	86.5%	86.5%	88.1%	88.6%	89.3%	90.4%	90.7%	91.0%	91.6%	92.5%			
	<b>下水道の整備</b>	下水道普及率(%)									下水道普及率(%)	86.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	67.7%	68.2%	68.6%	69.3%	70.0%	70.9%	71.2%	72.1%	73.2%	73.8%			
	<b>高度処理施設の導入(下水道整備の内)</b>	高度処理人口普及率(%)									高度処理人口普及率(%)	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	45.3%	45.7%	46.8%	47.5%	47.2%	48.9%	49.2%	49.9%	50.9%	53.0%			
	<b>農業集落排水施設の整備</b>	農業集落排水処理人口普及率(%)									農業集落排水処理人口普及率(%)	7.5%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	・農業集落における尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全・維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	6.0%	6.0%	6.2%	6.1%	6.0%	5.8%	5.6%	5.5%	5.5%	5.4%			
	<b>合併処理浄化槽の設置</b>	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)									合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	—	—	
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	12.6%	12.0%	13.1%	13.0%	13.2%	13.6%	13.8%	13.3%	12.7%	13.2%			・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		合併処理浄化槽の基数割合(%)									合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	2030	
		37.3%	38.3%	39.3%	40.7%	41.7%	42.4%	43.2%	43.6%	44.6%	45.3%			
	<b>コミュニティプラントの整備</b>	コミュニティプラント処理人口普及率(%)									コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.12%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.2%	0.2%	0.2%	0.24%	0.24%	0.15%	0.15%	0.15%	0.15%	0.14%			
	<b>干潟・浅場造成事業</b>	干潟・浅場造成面積(ha)									干潟・浅場造成面積(ha)	471ha	2014~2038	干潟・浅場を造成した面積
・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	1.3ha	1.0ha	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.4ha	1.7ha	2.8ha	3.7ha	8.0ha				
<b>河川等公共用水域水質監視</b>	河川(BOD)の環境基準達成率(%)									河川(BOD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・河川BODは東三河地域のみの環境基準達成率 ・海域CODは瀬美湾のみの環境基準達成率	
・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	90%	100%	100%				
	海域(COD)の環境基準達成率(%)									海域(COD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年		
	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%				
<b>水生生物調査</b>	実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	31箇所	28箇所	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	3箇所	-	15箇所				
	延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	598人	668人	591人	533人	633人	411人	723人	8人	-	131人				
<b>流域モニタリング一斉調査</b>	実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	11箇所	10箇所	19箇所	20箇所	25箇所	18箇所	36箇所	43箇所	33箇所	53箇所				
	延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	104人	119人	104人	124人	131人	88人	296人	111人	98人	210人				
<b>伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)</b>	施策実施状況(件)									施策実施状況(件)	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況	
・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	205件	215件	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件				
<b>三河湾環境再生プロジェクト</b>	サポーター数(人)									サポーター数(人)	継続実施	継続実施	サポーター数	
県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。			375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	2,126人	2,295人	2,724人				
<b>河川・海岸の清掃</b>	実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	172回	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回				
	実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年		
	138箇所	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所				
	延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	29,294人	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人				

めざす姿	指標とする取組		実績									目標値	目標年度	指標の説明	
	取組内容		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				2022年度
豊かな水	<b>森林の整備</b>		間伐面積(ha)									間伐面積(ha)	4,000ha (県域)	2016 ~2020	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	2,608ha	2,362ha	2,397ha	2,497ha	1,845ha	1,881ha	1,508ha	1,259ha	1,206ha	1,211ha				
	<b>水源地域の森林整備</b>		間伐面積(ha)									間伐面積(ha)	継続 実施	単年	間伐を実施した面積
	・(公財)豊川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。	410.6ha	342.6ha	339.8ha	368.2ha	363.0ha	344.4ha	371.5ha	289.0ha	289.0ha	248.0ha				
	<b>雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)</b>		雨水貯留施設の設置数									雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	41基	35基	31基	22基	10基	2基	9基	10基	142基	147基				
		雨水貯留浸透施設設置補助件数									雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年		
		116件	98件	54件	30件	53件	34件	42件	54件	28件	30件				
<b>ため池の保全</b>		整備箇所数									整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。					23箇所	104箇所	247箇所	98箇所	94箇所	93箇所	91箇所				
<b>透水性舗装の推進</b>		整備面積(m <sup>2</sup> )									整備面積(m <sup>2</sup> )	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積	
・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	4,943m <sup>2</sup>	1,450m <sup>2</sup>	965m <sup>2</sup>	1,978m <sup>2</sup>	10,850m <sup>2</sup>	1,348m <sup>2</sup>	920m <sup>2</sup>	3,725m <sup>2</sup>	4,292m <sup>2</sup>	1,783m <sup>2</sup>					
多様な生態系	<b>多自然川づくり</b>		整備延長(km)									整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	-	1.3km	2.2km	4.0km	4km				
	<b>干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」)</b>		干潟・浅場造成面積(ha)									干潟・浅場造成面積(ha)	471ha 2014 ~2038	単年	干潟・浅場を造成した面積
	・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	1.3ha	1.0ha	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.4ha	1.7ha	2.8ha	3.7ha	8.0ha				
	<b>水生生物調査(再掲「きれいな水」)</b>		実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	31箇所	28箇所	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	3箇所	-	15箇所				
			延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年	
			598人	668人	591人	533人	633人	411人	723人	8人	-	131人			
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b>		実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	172回	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	37回	33回	36回			
		実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年		
		138箇所	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所				
		延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年		
		29,294人	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人				
<b>ため池の保全(再掲「豊かな水」)</b>		整備箇所数									整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。					23箇所	104箇所	247箇所	98箇所	94箇所	93箇所	91箇所				
ふれあう水辺	<b>多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)</b>		整備延長(km)									整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	-	1.3km	2.2km	4.0km	4km				
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b>		実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	172回	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	37回	33回	36回			
			実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	
		138箇所	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所				
		延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年		
		29,294人	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人				



流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績										
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
豊川・天竜川等流域	まちづくり	<b>学校における環境教育(豊川流域における体験学習) 【第3次計画まで】</b> ・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通して学習する。 ・申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)								-	-	
				4回	8回	5回	4回	6回	-	6回	0回			
				実施箇所数								-	-	
				4箇所	8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	0箇所			
	延べ参加人数(人)								-	-				
	78人	151人	107人	79人	136人	-	141人	-						
	川・里海づくり	新倉川の清掃活動	朝倉川青水フォーラム ・朝倉川に環境の指標生物であり人々の郷愁をさそうホタルがかつてのように自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善を図る。	朝倉川青水フォーラム	延べ参加人数(人)								3,000人	2,050人
					2,850人	3,221人	2,500人	3,000人	2,361人	-	-	-		
					ごみの量(kg)								2回	2回
					3,110kg	5,510kg	2,200kg	2回	2回	-	-	-		
		実施箇所数								1箇所	朝倉川全川 寺門橋～多米橋			
					2箇所	2箇所	-	-	-					
		川と海のクリーン大作戦	・閉鎖性水域である三河湾の浄化を目的とした流域河川の清掃を行う。	豊川市、新城市、豊橋河川事務所 (報告機関:市町村)	実施回数(回)								-	2回
					8回	7回	4回	3回	2回	3回	2回	3回		
					実施箇所数								-	8箇所
					45箇所	68箇所	73箇所	57箇所	69箇所	63箇所	8箇所	76箇所		
		延べ参加人数(人)								-	430人			
		2,766人	4,362人	5,078人	5,387人	4,093人	3,040人	455人	4,644人					
	しんしるクリーンフェスタ	・市民・事業所・行政が協働で清掃活動に取り組み、美しいまちづくり、市民の環境保全に対する意識の高揚を図る。	新城市	実施回数(回)								122回	137回	
				1回	1回	1回	1回	1回	1回	2回	2回			
実施箇所数								104箇所	137箇所					
10箇所				13箇所	39箇所	79箇所	52箇所			80箇所	114箇所	74箇所		
延べ参加人数(人)								6,154人	8,496人					
2,199人	1,602人	2,576人	3,539人	1,546人	3,752人	4,281人	4,464人							
水生生物調査	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、豊橋河川事務所、 県水大気環境課 (※報告機関:豊橋河川事務所、 県水大気環境課)	実施箇所数								-	10箇所		
			24箇所	19箇所	30箇所	26箇所	27箇所	22箇所	22箇所	3箇所				
			延べ参加人数(人)								-	131人		
			512人	551人	486人	471人	515人	280人	700人	8人				
ホタルの調査・観察	・豊橋の環境改善の象徴として、市街地を流れ多くの市民に親しまれている朝倉川に、環境の指標生物であり人々の郷愁をさそうホタルがかつてのように自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善のための具体的な活動を行う。	朝倉川青水フォーラム	観察会実施回数(回)								-	-		
			1回	1回	1回	1回	1回	-	-	-				
			延べ参加人数(人)								-	-		
			10人	20人	50人	50人	100人	-	-	-				
学校における環境教育(豊川流域における体験学習)(再掲) 【第3次計画まで】	・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通して学習する。 ・申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)								-	-		
			4回	8回	5回	4回	6回	-	6回	0回				
			実施箇所数								-	-		
			4箇所	8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	0箇所				
延べ参加人数(人)								-	-					
78人	151人	107人	79人	136人	-	141人	-							
川に関する 出前講座	・小学校・中学校において、川の役割(治水・利水・環境)と身近な川について紹介する出前講座を実施する。 ・生活排水が川や海を汚す大きな原因となっていることについて理解を深め、自分たちでできることは何かを考え、実践してもらうため、簡単な実験を交えた講座であり、随時申込のあった小中学校等に出向き実施している。	豊川市	実施回数(回)								5回	3回		
			2回	-	5回	4回	6回	6回	6回	0回				
			実施箇所数								5箇所	3箇所		
			2箇所	-	5箇所	4箇所	6箇所	6箇所	6箇所	0箇所				
延べ参加人数(人)								143人	84人					
209人	-	107人	79人	136人	171人	141人	-							

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績									
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
三河湾沿岸域 (豊川・蒲郡等)	森づくり	<b>分散育林事業(再掲)</b> ・水源林の保全・かん養に分散育林という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。	蒲郡市、田原市、設楽町	整備面積(%)								整備面積(ha)	
				32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	-	32.9ha	32.9ha	32.9ha	46.3ha
		<b>間伐材の利用促進(再掲)</b> ・間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを訴えとともに、上下流域の交流を図る。	蒲郡市	事業費(円)								事業費(円)	
				920,000円	830,000円	920,000円 (湧り台・組み木セキを7 のり)	920,000円	920,000円	-	-	920,000円	920,000円	920,000円
		<b>小学校訪問授業・野外体験授業(2021終了)</b> ・森林のはたらき(水源涵養等)や森林整備の重要性等についての出前授業間伐等の森林整備体験授業を実施する。	(NPO)種の国森づくりの会) 2021年度まで	実施回数(回)								実施回数(回)	
				4回	4回	1回	3回	2回	1回	-	6回	8回	-
		<b>水源地域交流事業(豊川流域における上下流交流)(再掲)</b> ・下流域である蒲郡市と上流域の新城市民(鳳来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。	蒲郡市、新城市、設楽町	実施回数(回)								実施回数(回)	
				8回	9回	9回	7回	7回	4回	3回	0回	0回	2回
				人数(人)								人数(人)	
				966人	984人	1,250人	303人	310人	128人	95人	0人	0人	91人
	<b>豊川流域における上下流交流【2015終了】(再掲)</b> ・交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村地内)宿泊者数。	田原市	宿泊者数(人)								宿泊者数(人)		
			1,621人 (市民884人)	1,702人 (市民970人)	1,832人 (市民1,031人)	-	-	-	-	-	-	-	
		猫づくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	<b>【目標】</b> ☆自然と風景と文化が調和したふれあい空間としての水辺 ☆魚などの生き物が豊か  ○水がきれい散歩などが楽しめる景観にすべれた川 ○貧酸素水塊の抑制や干潟の造成など生物の生態環境の改善	まちづくり	<b>蒲郡市井戸掘り事業助成金</b> ・井戸水の効率的利用の促進、節水意識野向上を図るため、公益目的の井戸掘りに助成する。 <b>環境学習講座の実施</b> ・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる川について体験を通じて学習する。	蒲郡市	件数								件数
													1件
												1回	
												3回	
												15箇所	
												3箇所	
												15人	
												84人	
	川・里海づくり	<b>海浜環境整備事業</b> ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	三河港務所	整備面積(%)								整備面積(ha)	
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		<b>海浜緑地の修復</b> ・三河湾に点在する浸没地等を埋め戻し、貧酸素水塊の発生を抑える。	三河港務所	整備面積(%)								整備面積(ha)	
				2.9ha	1.6ha	1.0ha	36ha	1.1ha	-	-	-	1.6ha	
	川・里海づくり	<b>水生生物調査</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流城市町、県水大気環境課 (報告機関:県水大気環境課)	実施箇所数								実施箇所数	
				6箇所	8箇所	6箇所	6箇所	5箇所	4箇所	7箇所	-	5箇所	
				調査参加人数(人)								調査参加人数(人)	
				77人	107人	100人	106人	12人	12人	13人	-	20人	



